

京都資料総合閲覧室ミニツアー（開催報告）

令和2年1月15日
京都学・歴彩館
075-723-4833

京都学・歴彩館で令和元年10月～12月に「京都資料総合閲覧室ミニツアー」を開催しましたので報告します。

記

■ 名称 京都資料総合閲覧室ミニツアー

■ 実施日時 <参加人数> 延べ34名

10月3日（木）14時10分～14時35分 <8名>

11月19日（火）15時10分～15時30分 <10名>

12月17日（火）15時15分～15時35分 <16名>

■ 場所 京都府立京都学・歴彩館2階 探究フロア 京都資料総合閲覧室

■ 概要

（趣旨）歴彩館をはじめて訪れた方を対象に、資料課職員が京都資料総合閲覧室の資料と使い方を案内するミニツアーを開催する。当館の特徴である資料を案内し、満足度を高めてリピート利用、口コミにつなげるため、1回7～10名程度の参加者とする。

（行程）当館を初めて訪れる人が多そうな講演会等の終了時間に併せ1階交流フロアで参加者を募り、2階探究フロアに誘導する。書架を巡りながら資料を手に取り、質疑応答も交え京都資料総合閲覧室を案内する。所要時間20～30分程度。 ※（参考）6月から9月計5回の参加人数 延べ50名

■ 参加者の声（抜粋）

- ・植物園のボランティア帰りに歴彩館に寄ることが多い。
- ・府立図書館と比べて本の感じが違うなとは思っていた。
- ・山登りをするので地形図が見たい。
- ・卒業校の年史があった。
- ・書架の本を眺めているといろいろな考えが湧いてきて、抜け出られなくなりそう。

■ その他

初めての方には敷居が高く感じられているようで、手続きなしで閲覧室に入り、棚から自由に本を手にとってよいことなどを説明すると安心してもらえる。

新聞のバックナンバーをマイクロフィルムやデジタル版で見ることにも興味を持ってもらった。OPAC（蔵書検索）をインターネットで公開していること、館内ではレシートを印刷して書庫出納を申請することなど、分かっていることでも目の前で画面を見せながら説明すると聞きながら聞いてもらえる。

京都関連の資料を中心に収集していることも、実際に書架を巡りながら説明することで、京都府立図書館や京都市立図書館との違いを実感してもらえた。